

# 文化祭を終えて



僕は、最初の頃は練習を行う意味はあるのだろうかと思っていました。練習を始めたときは練習に参加しない人がいたからです。しかし、昼放課を使い毎日練習していたら、全員がそろようになり、アドバイスを出しあったりと、みんなの気持ちがひとつになっていく気がしました。練習していくうちに、優勝したいという気持ちもあったけれど、楽しもうという気持ちが強くなってきました。本番は最高に楽しんで歌いました。優勝したときは、苦労が報われたと思ってもうれしかったです。このとき、1組ならなんでもできる！と思いました。

1組

「声が小さい、目が死んでる、まとまりがない…」こんな1年2組の歌でしたが、一人一人の頑張りや、他のクラスに負けないような歌になりました。たくさん先生の叱りかけや、ほめられたいといううちに、一回一回の練習を大事にし、努力するようになりました。本番では、学年の最優秀賞はとれなくても、今までで一番良い歌になりました。これからは、文化祭を通してわかった自分たちはできる力があることと、まだ成長できることを頭に入れながら、自分を伸ばしていきたいです。

2組



私は、ギネスの運営で、お客さんに笑顔で接していくことを心がけました。お客さんも笑顔で楽しそうにメダルを回していたので、とても嬉しかったです。笑顔で接すると、周りの人も笑顔になるので、良いことだなと思いました。

合唱コンクールでは、最優秀賞は取れなかったけれど、3組の心が一つになったと思いました。これからも3組と心を一つに協力し合い、団結し合い、助け合っていこうと思います。来年の合唱コンクールは、絶対に最優秀賞を取りたいです。

3組

僕が文化祭を終えて感じたことは、まず4組の成長の速さにびっくりしたことです。初めは文化祭が何なのかよく分からず、歌の練習をみんななんとなくやっていたのですが、パートリーダーを中心とした呼びかけやアドバイスで、クラス全員の声にまとまりができてきて、みんなが誰に対してもアドバイスできるようになりました。だれかがやるからいいやと思わず、自分から努力して、自分がクラスを引っ張っていくという強い意志が必要だと思いました。文化祭で多くのことを学ぶことができました。来年の文化祭では優勝目指してがんばります。

4組

